

7. 雇用のセーフティネット強化と職業訓練充実

研究、開発やものづくりの基盤を支える高度人材の育成を推進します。社会人の学び直し（リカレント教育※1、リスキリング教育※2）を支援します。雇用のセーフティネット機能を高めつつ、成長分野への人材移動と集積を進めるため、職業訓練と生活支援給付を組み合わせた求職者支援制度を拡充した「求職者ベーシック・インカム制度※3（仮称）」を構築します。フリーランス※4、ギグワーカー※5などに対応した教育・雇用環境を整備します。

※1. **リカレント教育**：「リカレント（recurrent）」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、リカレント教育とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことです。日本では、仕事を休まず学び直すスタイルもリカレント教育に含まれ、社会人になってから自分の仕事に関する専門的な知識やスキルを学ぶため、「社会人の学び直し」とも呼ばれる。

※2. **リスキリング**：リスキリング（Reskilling）とは、ビジネスに起こる変化や技術の進化などに対応するために、新たな知識やスキルの習得を目的として学ぶ事。

※3. **ベーシックインカム**：年齢、性別、所得水準などに関係なく、すべての国民や市民に一律の金額を恒久的に支給する基本生活保障制度のことです。例えば「国民全員に毎月〇万円を支給する」といった仕組みがベーシックインカムの具体例として挙げられます。

※4. **フリーランス**：組織に属さず自分の特技やスキルを活かした働き方をする人を指します。そして、仕事によって企業と契約を結び、自身の技術による対価として報酬を得る。依頼された仕事を受けるかどうかは自身で選択できる事や、自分で青色申告を行って節税できる事など、フリーランスとして働くメリットは多い。

※5. **ギグワーカー**：インターネット上のプラットフォームを通して、単発の仕事を請け負うスタイルで働く人を指し、特定の企業や団体に所属せず、働く場所や時間も自分の裁量で決められます。フードデリバリーの配達代行をはじめ、オンラインプラットフォーム上から受注できる家事代行、オンライン講義、資料やデザインの作成、コンサルティングなど、様々な仕事が存在。

① EdTech※1 の推進

人工知能、IoT※2、VR※3、学習・教育効果の向上、自動化・効率化、価格破壊、市場創出等、従来の教育の仕組みや産業構造に大きな変革を起こします。

※1. **EdTech（エドテック）**：「Education（教育）」と「Technology（テクノロジー）」を合わせた造語で、テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービスを指す。

※2. **IoT（アイ・オー・ティー）**：様々なモノがインターネットに繋がる仕組みの事。「」で、Internet of Things（インターネット・オブ・シングス）を略した言葉になる。意味はモノのインターネット、定義はインターネットを活用した取り組みのための総称

※3. **VR（Virtual Reality）**：コンピュータによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みであり、日本語では仮想現実などと呼ばれる。

② 長時間労働の是正

勤務から翌日の勤務まで一定の間隔を空ける「**インターバル規制※1**」の義務づけ、長時間労働の温床となっている「**裁量労働制※2**」の厳格化、労働時間管理の徹底、違法残業など法令違反に対する罰則の強化など、実効性のある規制を定めた「**安心労働社会実現法**」を制定します。

※1. **インターバル規制**：1日の勤務終了後、翌日の出社までの間に、一定時間以上の休息時間（インターバル）を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保するもの

※2. **裁量労働制**：労働時間制度のひとつであり、労働時間を実際に働いた実働時間ではなく、あらかじめ定めた一定時間にみなす制度。つまり勤務時間の制限がなくなり、労働者の裁量で労働時間を管理できる。裁量労働制は「みなし労働制」と呼ばれ、実際の労働時間に関係なく、労使で契約した時間分が報酬として支払われる制度。

③病氣有給休暇の創設

労働者が新型コロナウイルスに感染した、または感染の疑いのある症状が出た場合、濃厚接触者となった場合、家族が同様の事態になって看護のため仕事を休む場合などにかかる賃金補償付の病氣有給休暇を創設します。

④職業訓練の権利保障

労働市場へ参入後に職業訓練を受ける権利と機会を保障する制度を検討します。

秋田・日本再起動

～重点政策～

選択画面に戻る